

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サムティ広島市中区東平塚町Ⅱ新築工事	階数	地上14F
建設地	広島県広島市中区東平塚町7-5,7-8,7-16	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	153 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2022年4月5日
敷地面積	512.59 m ²	作成者	福本 由紀
建築面積	249.25 m ²	確認日	2022年4月5日
延床面積	3,075.59 m ²	確認者	山本 育実

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 62% (114 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 62% (114 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 62% (114 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.1)

音環境: 3.4, 温熱環境: 2.9, 光・視環境: 2.6, 空気質環境: 3.8

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 2.8)

機能性: 2.9, 耐用性: 2.8, 対応性: 2.6

Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア= 2.5)

生物環境: 1.0, まちなみ: 4.0, 地域性: 2.0

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.5)

建物外皮の: 3.0, 自然エネ: N.A., 設備システ: 3.9, 効率的: 3.0

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 2.7)

水資源: 3.4, 非再生材料の: 2.4, 汚染物質: 3.0

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.1)

地球温暖化: 4.5, 地域環境: 1.8, 周辺環境: 3.0

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 2.9

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.3	スコア = 1.1	スコア = 3.0
設計の計画上添段に配慮した事項 // LED照明の採用 // 節水器具の設置 // ライフサイクルCO ₂ 排出量の削減	設計の計画上添段に配慮した事項 /	設計の計画上添段に配慮した事項 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される